消化器外科を受診している患者さんへ

当院では，下記の研究を実施しています。この研究は，愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され，研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は，対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく，研究内容の情報を公開し，研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく，個人情報の開示を希望される場合，研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は，以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は，他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	膵癌術後再発症例の臨床病理学的特徴および外科的治療成績に関する観察研究
研究機関の長（試料・情報の管理責任者）	愛知医科大学病院　病院長　天野哲也
研究責任者	（所属）消化器外科　（職名）講師　（氏名）大澤高陽
研究の対象となる方	2012 年 1 月から 2029 年 12 月までに当院で膵癌に対して切除術を受けた患者さん。
研究期間	研究実施承認日　～　2030 年 12 月 31 日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 当院では、膵癌術後の再発形式や治療成績を明らかにし、再発後の適切な治療選択に役立てることを目的として、本研究を実施します。 〔利用方法〕 診療録（カルテ），手術記録，検査結果，画像所見，病理検査結果等から必要な情報を収集し，患者背景，原発巣の病理学的特徴，再発時期・部位，再発後の治療内容と予後との関連を統計学的に解析します。本研究のために新たな検査や治療を行うことはありません。研究結果は，個人が特定されない形で学会や学術論文等に公表する場合があります。 〔外部への試料・情報の提供〕 非該当 〔外部への提供開始日〕 非該当
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：通常診療で得られた診療録（カルテ），手術記録，検査結果，画像所見，病理検査結果等から，年齢，性別，併存疾患，腫瘍部位，病理学的所見，病期，手術内容，術前・術後治療，腫瘍マーカー，再発の有無・時期・部位，転移個数・大きさ，再発後の化学療法，外科的治療，放射線治療等の治療内容，再々発の有無・部位，生存状況等を収集します。
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当

試料・情報を利用する学外の者	非該当
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への情報の利用を希望しない方は，2030 年 6 月 30 日までに，電話により下記問い合わせ先へご連絡ください。研究への参加を拒否された場合でも，今後の診療において不利益を受けることはありません。ただし，申し出の時点ですでに研究結果が公表されている場合など，情報を除外できない場合があります。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院　消化器外科 担当者：（職名）講師　（氏名）大澤高陽 〒480-1195　愛知県長久手市岩作雁又 1 番地 1 電話 0561-62-3311（内線 22121）